

議会 かながわ

令和6年 第2回定例会
(5月15日から7月9日まで)

No.183 令和6年(2024年)
8月22日(木)発行



県議会ホームページ <https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/>

神奈川県議会

検索

編集・発行・お問合せ 議会局政策調査課
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
電話 (045) 210-1111(代表) (045) 210-7564(直通)
FAX (045) 210-8907



緑のハートのマーク  は、県議会のマークです。緑は神奈川県の自然を表し、開かれたハートは、県議会の活動で県民の皆さまの心をつにつなぎたいという、願いが込められています。

令和6年度6月補正予算案等を可決

令和6年第2回神奈川県議会定例会は5月15日から7月9日まで開かれました。

7月9日には能登半島地震等を踏まえた災害対策や物価高騰対策など、早急に対応する必要がある事業の予算として、備蓄資機材等の緊急整備や、LPガス料金の高騰に対する支援などを進めるための、総額122億2600余万円の6月補正予算を可決しました。このほか、収入証紙に関する条例の一部を改正する条例などを可決しました。

6月補正予算の主な内容	予算額
備蓄資機材等の緊急整備	3億3,851万円
LPガス料金の高騰に対する支援	13億9,919万円
信用保証事業費補助	9億3,170万円
運転免許更新手続き等に関するデジタル化の推進	5,396万円 20億9,972万円(限度額R6～12年度)

可決した主な 条例案の概要

●収入証紙に関する条例(改正)

建築計画概要書等の写しの交付手数料等について、建築計画概要書等閲覧交付システムの導入に伴い、証紙による収入の方法から、現金やクレジットカード等による徴収に改めるための条例案を審議し、改正を行いました。

議長、副議長決まる

5月22日には正副議長の選挙が行われ、議長には、柳下剛議員(自民党)、副議長には、近藤大輔議員(かながわ未来)が選出されました。

議長



やなぎした つよし
柳下 剛
自民党
横浜市緑区

神奈川に生まれ育ち、神奈川を心から愛するものとして、県民の視点に立って、全力を尽くしてまいります

このたび、神奈川県議会第117代議長に就任いたしました。身に余る光栄とともに、責任の重さを痛感しているところでございます。

歴史と伝統ある神奈川県議会の議長として、922万県民の負託を心に刻み、今の時代に求められている円滑な議会運営に取り組んでまいります。

本県を取り巻く状況を見ますと、エネルギー価格をはじめとする物価の高騰、近年頻発する大規模災害に対する備え、脱炭素社会への取組とともに生きる喜びを分かち合うことのできる共生社会の実現など、引き続き課題は山積しております。

これらの諸課題の解決に向け、私自身、神奈川に生まれ育ち、神奈川を心から愛するものとして、また、民間会社のサラリーマンや経営者、自治会や商店会の役員など、これまでの経験を生かして、より県民に近い開かれた県議会の実現に、全力を尽くしてまいりたいと存じます。

多くの方の声に耳を傾け、一つ一つ県民の皆さまと一緒に取り組んでまいりますので、今後とも県議会へ関心をお寄せ頂き、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副議長



こんどう だいすけ
近藤 大輔
かながわ未来
逗子市・葉山町

物価の高騰や喫緊に解決すべき環境問題などの諸課題の解決に向け、活発な議論を重ねてまいります

このたび、神奈川県議会第118代副議長に就任をいたしました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響から脱却した今、日常生活や社会経済活動は、以前の活気を取り戻しつつあります。

一方、にぎわいを見せている県内の観光地では、観光客の増加によるオーバーツーリズムの問題が発生し、県民の暮らしや産業経済では、歴史的な円安等を背景とした物価の高騰が依然として大きな影響を与え続けています。

また、海に恵まれた本県ですが、海産資源である「藻場」沿岸部の海藻群が消失する「磯焼け」が拡大するなど、喫緊に解決すべき環境問題も抱えております。

こうした諸課題の解決に向け、県議会としても、引き続き県民の皆さまの声にしっかりと耳を傾けながら、活発な議論を重ね、必要な施策を講じていく必要があります。

柳下議長のもと、私自身も県民の皆さまの期待に応えることができるよう精一杯努めてまいりたいと存じます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

正副議長就任のあいさつ動画はこちらから



主な活動〈第2回定例会〉

本会議など

(5月15日～6月25日)

- 議長、副議長の選出
- 代表質問(2面)
- 議案の審査
- 各委員の選任
- 一般質問(3面)
- 議案等の採決(8面)
- 知事提案説明

常任委員会

(6月27日・28日・7月4日)

- 議案等の審査(6面)

特別委員会

(7月1日)

- 調査

本会議

(7月9日)

- 議案等の採決(8面)



代表質問

6月18日 火・19日 水・20日 木

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、9月上旬に県議会ホームページに掲載される県議会会議録をご覧ください。

会派名・選挙区は、質問時点のものです。
質問順は、左上から下に続きます。



ふじしろ
藤代 ゆうや
自民党
大和市

能登半島地震を踏まえた 本県の応急体制の強化

問 本県でも、大規模災害に備え、航空機の運用も含めた応急体制の強化が必要だと考えるが、知事の見解を伺う。

答 県として、政令市や県警察に運用を委ねているヘリコプターについて、導入に向けた検討を行うこととし、運航方法等の課題について関係機関と直ちに調整を進める。今年度とりまとめる新たな地震防災戦略に、航空機の運用体制の充実を図る方向性を位置付け、本県の応急体制の強化につなげていく。

カスタマーハラスメント※1対策

問 労働者の働きやすい環境を損なう、カスタマーハラスメントから労働者を守る対策について、今後どう行っていくのか、知事の見解を伺う。



すがはら
菅原 あきひと
立憲民主党・かながわクラブ
横浜市港北区

安全・安心な出産に向けた 妊婦健診への支援

問 安全で、安心して出産できる環境を整備するため、妊婦健診への支援について県としてどう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 今年度、市町村や医療関係団体等で構成する「妊婦健診のあり方に関する検討会」を県主導で開設し、補助額や補助の方法、利便性を高めるデジタル技術の活用などについて検討していく。

感染症の情報発信

問 県民生活に重要な影響を与える様々な感染症に関する平時からの情報発信について、県としてどう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。



いしかわ ひろのり
石川 裕憲
かながわ未来
川崎市麻生区

カスタマーハラスメント※1 防止に向けた支援

問 全体像を把握し、産業別や現状に即した対応策を検討する必要があると考えるが、知事の見解を伺う。

答 事業者や組合等にヒアリングを行うなど、カスタマーハラスメントの実態を把握するとともに、国等が実施している調査等を分析する。ハラスメント防止研修の実施や従業員の通報窓口を設置するなど、具体的な対策を事業者が検討できるよう講演会等の内容を工夫する。さらに、国の業種別対策の取組支援に歩調を合わせた対策を行う。

答 国では、いわゆるカスハラ対策の法制化に向けた検討が進んでいることから、その動きを注視し、国と連携して取り組むことで、労働者が生き生きと働ける神奈川の実現を目指していく。また、庁内における実態調査を行い、他の自治体の事例も参考にしながら、職員をカスハラから守る対策をしっかりと検討していく。

県有施設の有効活用

問 県有施設におけるトライアル・サウンディング※2の活用について、今後どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 近年、全国的に事例が増えつつあり、県としても、庁舎公開の実績のある本庁庁舎において、他自治体の事例なども参考にしながら、トライアル・サウンディングの活用を検討していく。その上で、施設利用の需要や収益性なども含め、効果や課題を検証していく。

このほか

意見を反映した子ども施策、移動手段確保の交通政策、高齢運転者対策、5事業者の水道システム再構築推進などについて質問しました。

答 コロナ流行時に全国に先駆けて導入した「LINEコロナパーソナルサポート」を引き続き活用していく。また、コロナ以外の感染症についても、プッシュ型で情報を発信していく。

教員の働き方改革

問 働き方改革における若手教員プロジェクトチームからの提言をどう受け止め、今後、教員の働き方改革をどう進めていくのか、教育長の見解を伺う。

答 「業務の削減・適正化」などの視点で11項目の提言がなされ、現場の切実な思いと受け止めている。そこで、学校への調査などを可能な限り削減するよう指示した。また、教員定数や処遇の改善等について、国に強く要望していく。こうした取組を含め、今年度改定する「神奈川の教員の働き方改革に関する指針」に提言を可能な限り具体化し、働き方改革を進める。

このほか

精神障がい者への支援、県の熱中症対策、県立学校における適切な教室の温度管理、オスプレイの安全対策などについて質問しました。

県の人口と出生率向上施策

問 出生率減少の原因をどう捉え、具体策をどう推進するのか、知事の見解を伺う。

答 出産や育児等の不安とともに、地域コミュニティの希薄化など、少子化には複合的な要因がある。県は、市町村と連携して、先進医療に指定されている不妊治療費の助成を、今年度から行う。また、仕事と育児を両立できる職場環境の整備等に取り組む中小企業等を支援する新たな奨励金も交付する。他に、市町村が提案する事業に対する補助制度を創設した。様々な分野で新たな取組を講じ、出生率向上を目指していく。

このほか

生活困窮者対策推進本部の検証と今後の方針、子育て支援の現状と今後、コロナ禍を経た学校説明会と紹介動画などについて質問しました。



かめい
亀井 たかつぐ
公明党
横須賀市

踏切における 視覚障がい者の事故防止

問 事故防止のこれまでの取組と、今後どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 令和4年度に県管理道路29箇所です踏切手前の点字ブロックの設置を完了した。踏切内の点字ブロックについても、鉄道会社と協議を進め、バリアフリー法で特に障がい者の通行に配慮すべきと指定された道路3箇所を優先して今年度中に設置し、残る26箇所は令和7年度の完了を目指す。さらに、

市町が管理する道路も同様に設置が進むよう、工事方法や鉄道会社との協議の進め方などを提供する。

痴漢被害対策

問 デジタルツールを活用した痴漢被害対策について、警察本部長の所見を伺う。

答 令和6年度に、県警察が発信する様々な防犯情報などをスマートフォン等で受信閲覧できるモバイルアプリを整備する。このアプリでは、被害者が画面や音声・ブザーにより周囲に助けを求めることができるほか、画面の表示により周囲の人が被害に遭っているかを確認できる機能や、画面上のボタンで110番できる機能を導入予定である。

このほか

障がいを理由とする差別の解消、介護ロボットの実用化促進、中小企業への融資制度、電力をためる取組の推進などについて質問しました。

財源により必要な措置を講じるべきであり、引き続き国に強く要望していく。

湘南ゴールドの育成者権※3 満了に伴う対策

問 育成者権が令和10年11月に期間満了となることを見据え、今後の生産体制やブランド力の維持について、どう取り組んでいくか、知事の見解を伺う。

答 JA等と連携して十分な生産量と品質を確保するほか、食品製造業者への販路拡大支援、商標登録のブランドマークを活用したアピール手法の検討等により生産体制とブランド力を維持する。

このほか

介護人材の定着対策、感染症対策、各種詐欺被害防止の取組、公立学校のいじめ防止対策、110番通報の適正利用について質問しました。



いちかわ かずひろ
市川 和広
自民党
藤沢市

当事者目線での県立障害者 支援施設の方向性検討

問 県立障害者支援施設の今後の方向性に関して、「県立障害者支援施設の方向性ビジョン」で引き続き検討するとした施設について、どのように方向性を考えているのか、知事の見解を伺う。

答 中井やまゆり園は県立施設として継続し、令和8年4月に設立する地方独立行政法人により運営する。愛名やまゆり園は存続し、地方独立行政法人による運営への移行を視野に入れて、利用者等に意見を伺いながら、検討を進める。芹が谷やまゆり園や津久井やま

ゆり園は、指定管理の中で課題や特色を把握、分析して、遅くとも令和8年中には方向性を示すよう検討を進める。

県立高校生の海外経験支援

問 県立高校生の国際交流や留学への支援にどう取り組んでいくのか、教育長の見解を伺う。

答 国の留学支援事業等の積極的な活用を生徒に働き掛けるとともに、本年3月に県単独事業として実施した高校生の教育特使派遣にあたっては、まなびや基金の寄付を活用した仕組みを早期に検討する。また、留学経験者とのオンライン交流会を継続し、留学への機運醸成を図る。こうした取組を進め、今後の動向を見定めた上で、県教育委員会としての支援策を検討する。

このほか

地域活性化につなげる文化芸術活動支援、海水浴場等の安全対策、ビジネススクアラー※4への対応、消防団活性化支援などについて質問しました。

インターネット中継のご案内

代表質問、一般質問の様様は、インターネット中継でもご覧いただけます。



神奈川県議会 ネット中継

検索

https://kanagawa-pref.stream.jfif.co.jp/?tpl=gikai_list&kaigi_id=1



一般質問

6月24日 月・25日 火

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、9月上旬に県議会ホームページに掲載される県議会会議録をご覧ください。

会派名・選挙区は、質問時点のものです。
質問順は、左上から下に続きます。

たむら

田村 ゆうすけ

自民党
横浜市瀬谷区

国際園芸博覧会※5の
機運醸成の取組

問「国際園芸博覧会」の更なる機運醸成に向け、県として、今後どう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 県ゆかりの著名人等様々な分野の方々に声を掛け、「GREEN×EXPO2027応援団」を結成し、多くの方々に参加を呼び掛けるほか、高校生から参加したくなるアイデアを募集するなど、機運醸成の段階から多くの県民に主体的に関わってもらい、参加につなげていきたい。

このほか ごみ処理の広域化・集約化、慢性腎臓病対策、医療的ケア児※6の支援、県営住宅の維持管理などについて質問しました。

なんば たつや

難波 達哉

自民党
厚木市・愛川町・清川村

県総合リハビリテーション
センターの機能強化

問 総合リハビリテーションセンターについて、パラスポーツの活用も含め、変化する医療や福祉のニーズに対応した機能強化を図るべきと考えるが、知事の見解を伺う。

答 指定管理期間が来年度で終了することを見据え、各施設の役割や連携、人材やノウハウの更なる活用など、専門家や利用者の意見も聞きながら、見直しを行う。また、併せてパラスポーツの担う機能等も検討する。

このほか 犯罪被害者等支援、厚木精華園の民間移譲、持続可能な林業構築、相模川の漁環境改善などについて質問しました。

あいほら

相原 しほ

立憲民主党・かながわクラブ
海老名市

フルインクルーシブ教育※7の
取組状況

問 海老名市との協定締結後の取組状況や、更なるインクルーシブ教育※7推進に向けた学級規模、人員体制を大胆に見直す議論の必要性について、教育長の所見を伺う。

答 県・市からなる推進会議を設置し、市民の意見を丁寧に聴くことや、調査研究部会を設けて検討を進めることに合意した。今後、有識者を交えた調査研究部会で、学級規模等にこだわらず議論を進めていく。

このほか (仮称)上郷立体の整備、災害対応に当たる職員の備蓄品の確保と管理、県立高校の校則の考え方などについて質問しました。

すだ

須田 こうへい

立憲民主党・かながわクラブ
横浜市旭区

脱炭素・脱原発の両立と
太陽光発電の導入拡大

問 原子力発電に対する現在の認識及び太陽光発電の導入拡大へどう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 原子力に依存しすぎたエネルギー体系からの脱却を目指す「脱原発」の考え方は、知事就任当初から現在も変わっていない。「0円ソーラー補助※8」や県有施設への太陽光発電の導入、ペロブスカイト太陽電池※9の実証事業などの取組により、脱炭素社会の実現を目指していく。

このほか 公益資本主義の実現を目指したCHO構想※10の普及促進、国際園芸博覧会※5、パートナーシップ制度※11などについて質問しました。

さくやま

作山 ゆうすけ

かながわ未来
横浜市中区

県都山下公園通り地区の
まちづくり

問 横浜市では現在、山下公園通り地区について、将来のまちづくりの検討を進めているが、県は、市や関係団体と連携し、今後どう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 今後、横浜市では本地区のまちづくりの新たなビジョンを策定する予定であり、ビジョンが明らかになっていく中で、県としてどう協力できるのか、関係団体と意見交換を行いながら検討していく。

このほか 根岸住宅地区返還の取組、大岡川水系の親水拠点整備、石油コンビナート地域の防災対策などについて質問しました。

やまぐち みつお

山口 美津夫

自民党
相模原市緑区

10市2町が区域のさがみ
ロボット産業特区※12の取組

問 相模原市、JR東海との連携協定を特区区域全体の活性化にどうつなげていくのか、知事の見解を伺う。

答 5月に設置したロボット企業交流拠点に加え、今年秋頃、特区区域内の南側にもう一箇所拠点を設置する。10市2町との連携で2拠点の利用を促進させ、イベント等の開催やコミュニティマネージャー※13の常駐など取組を充実させることで、特区区域全体の活性化につなげる。

このほか ツキノワグマ錯誤捕獲、民間慰霊碑の管理、能登半島地震への支援を踏まえた県営水道の災害対策などについて質問しました。

ささき まさゆき

佐々木 正行

公明党
相模原市中央区

災害時要配慮者に対する支援

問 災害時要配慮者をどう支援し、また、福祉避難所の充実にに向けてどう市町村を支援するのか、知事の所見を伺う。

答 個別避難計画の作成のため、モデル事業を行い市町村と共有するほか、訪問指導等を行う。また、SNS等を活用した情報発信も検討する。福祉避難所の拡充に向けて、団体や施設に県が直接働き掛けを行う。また、新たな地震防災戦略の重点施策に要配慮者対策を位置付ける。

このほか デジタル技術を活用した子どもの意見聴取、がん検診の受診環境、県営住宅の水道管老朽化対策などについて質問しました。

やまもと てつ

山本 哲

自民党
寒川町

県道湘南台大神伊勢原の整備

問 県道湘南台大神伊勢原の丸子中山茅ヶ崎から寒川北インターチェンジまでの区間と仮称・ツインシティ橋の整備に向けた取組について、県土整備局長の見解を伺う。

答 現在、4車線道路の新設事業を進めており、用地取得率は約3割となっている。令和6年2月に都市計画の手続きを完了したツインシティ橋については、早期に詳細設計をまとめ、用地取得に向けた測量に着手する。

このほか 結婚支援の取組の充実、小出川の整備、県営寒川新橋団地の建替え、水道記念館の今後の活用などについて質問しました。

議会報告会

in 横須賀

日時 令和6年11月20日(水) 午後2時～午後5時

場所 横須賀芸術劇場小劇場(ヨコスカ・ベイサイド・ポケット)
(横須賀市本町3-27)

テーマ 「自然災害対策の推進の取組」

安全安心特別委員会を傍聴いただいた後、委員と皆さまとの間で意見交換を行います。
参加申し込み方法など詳しい内容は、10月上旬に県議会ホームページなどでご案内します。
皆さまのご参加をお待ちしています。

主なアクセス

- 京急線「汐入駅」から徒歩1分
- JR横須賀線「横須賀駅」から徒歩8分



前回の議会報告会(令和5年実施)の様子

■ お問合せ
政策調査課調査・政策法制グループ
電話 (045) 210-7567

用語解説

2面 3面 6面

※1 カスタマーハラスメント(カスハラ)

顧客等からのクレーム・言動のうち、当該クレーム・言動の要求の内容の妥当性に照らして、当該要求を実現するための手段・態様が社会通念上不相当なものであって、当該手段・態様により、労働者の就業環境が害されるもの。

※2 トライアル・サウンディング

民間事業者に検討対象となる公共施設を暫定的に使用してもらい、民間事業者の提案事業を試験的に実施する機会を提供するもの。

※3 育成者権

植物の新品種を農林水産省に登録することで、育成した者が種苗、収穫物及び一定の加工品を独占的に利用することができる権利のこと。存続期間は登録日から25年又は30年とされている。

※4 ビジネスケアラー

仕事をしながら家族等の介護に従事する者のこと。

※5 国際園芸博覧会

国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に、国際園芸家協会の承認に加え、国際博覧会に関する条約に基づく博覧会国際事務局の認定を受けて開催される国際的な博覧会のこと。2027年に横浜市の旧上瀬谷通信施設(米軍施設跡地)で開催される。

※6 医療的ケア児

生活の中で医療的ケアを必要とする子どものこと。医療的ケアとは、たんの吸引や鼻などから管を通して栄養剤を流し込む経管栄養など、在宅で家族が日常的に行っている医療的介助行為のことで、医療行為と区別している。

※7 フルインクルーシブ教育・インクルーシブ教育

共生社会の実現に向け、障がいの有無等によらず、すべての子どもが同じ場で共に学ぶ取組のこと。

※8 0円ソーラー補助

住宅に太陽光発電を設置する際、事業者が初期費用を負担し、発電した電力の売電料もしくは設備のリース料によりその費用を回収することで、住宅所有者は初期費用0円で設置できる事業のこと。住宅所有者は一定期間使用した分の電気料金もしくはリース料の支払いが必要となるが、一定期間経過後は、設備が無償譲渡される。

※9 ペロブスカイト太陽電池

薄い、軽い、曲げられるといった特徴に加え、製造コストが安価で国産材料で生産できることから、今後の実用化が大いに期待されている次世代型の太陽電池のこと。

※10 CHO構想

企業や団体などが、CHO(Chief Health Officer=健康管理最高責任者)を自社に設置し、従業員やその被扶養者の健康づくりを企業経営の一部として位置付け、経営責任として「健康経営(健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に実践すること)」を進める取組のこと。

※11 パートナーシップ制度

同性同士の婚姻が法的に認められていない日本で、自治体が独自にLGBTQカッパルに対して人生のパートナーとする証明書を発行する制度のこと。

※12 さがみロボット産業特区

国から地域活性化総合特区としての指定を受け、生活支援ロボットの実用化や普及を通じた地域の安全・安心の実現のため、ロボットの開発・実証実験の促進などに取り組む地域のこと。

※13 コミュニティマネージャー

企業等のつながりやコミュニティの形成をコーディネートする職員のこと。

※14 eスポーツ

電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称のこと。

※15 スポーツツーリズム

アクティビティやスポーツ観戦などのスポーツ資源と旅行・観光を意味するツーリズムを融合したもので、スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや、それに周辺地域観光を伴うもの、さらに、スポーツを「支える」人々との交流などを含めた旅行スタイルのこと。

※16 かながわ認定観光案内人

外国人観光客の誘致を促進するため、自然、歴史、食、文化等の観光コンテンツに高い専門性を有すると認定された通訳ガイドのこと。

※17 PFOS(ビーフォス)等

有機フッ素化合物であるペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)やペルフルオロオクタン酸(PFOA:ビーフォア)等のこと。これらは環境中で分解されにくく、高い蓄積性があることから、国内外において製造、使用等が規制されている。

神奈川県議会フェイスブックのご案内

本会議の代表・一般質問の様子や議長の活動など、県議会の情報をフェイスブックで発信しています。皆さまのフォローをお待ちしています。

Facebook 神奈川県議会

アカウント名:
「神奈川県議会」▶▶▶



<https://www.facebook.com/kanagawapref.gikai/>

横浜市

鶴見区(定数3)

川崎 修平
自民党

鈴木 ひでし
公明党

木佐木 忠晶
共産党

神奈川区(定数3)

梅沢 裕之
自民党

片桐 紀子
日本維新の会

中村 武人
立憲民主党・
かながわクラブ

西区(定数1)

加藤 元弥
自民党

中区(定数2)

原 聡祐
自民党

山崎 悠
かながわ未来

南区(定数2)

新堀 史明
自民党

岸部 都
かながわ未来

港南区(定数2)

桐生 秀昭
自民党

浦道 健一
港南の会

保土ヶ谷区(定数2)

高橋 栄一郎
自民党

望月 聖子
立憲民主党・
かながわクラブ

旭区(定数3)

須田 こうへい
立憲民主党・
かながわクラブ

いそもと 桂太郎
公明党

小野寺 慎一郎
公明党

磯子区(定数2)

あらい 絹世
自民党

市川 さとし
立憲民主党・
かながわクラブ

金沢区(定数2)

大村 悠
自民党

松崎 淳
立憲民主党・
かながわクラブ

港北区(定数4)

武田 翔
自民党

嶋村 ただし
自民党

大山 奈々子
共産党

菅原 あきひと
立憲民主党・
かながわクラブ

青葉区(定数4)

赤野 たかし
立憲民主党・
かながわクラブ

内田 みほこ
自民党

小島 健一
自民党

青木 マキ
立憲神奈川ネット

都筑区(定数2)

しきだ 博昭
自民党

すとう 天信
立憲神奈川ネット

戸塚区(定数3)

松田 良昭
自民党

北井 宏昭
わが町

森田 梨恵子
立憲民主党・
かながわクラブ

栄区(定数1)

楠 梨恵子
自民党

泉区(定数2)

田中 信次
自民党

松本 清
立憲民主党・
かながわクラブ

瀬谷区(定数1)

田村 ゆうすけ
自民党

川崎市

川崎区(定数3)

杉山 信雄
自民党

西村 くにこ
公明党

米居 学
立憲民主党・
かながわクラブ

幸区(定数2)

田中 徳一郎
自民党

市川 よし子
立憲民主党・
かながわクラブ

中原区(定数3)

たきた 孝徳
立憲民主党・
かながわクラブ

松川 正二郎
日本維新の会

高津区(定数3)

小川 久仁子
高津自由の会

斉藤 たかみ
かながわクラブ

日浦 和明
日本維新の会

宮前区(定数3)

持田 文男
自民党

添田 勝
日本維新の会

柳瀬 吉助
清進の会

多摩区(定数2)

土井 りゅうすけ
自民党

青山 圭一
立憲民主党・
かながわクラブ

麻生区(定数2)

石川 裕憲
かながわ未来

小林 武史
自民党

相模原市

緑区(定数2)

山口 美津夫
自民党

小田 貴丈
かながわ未来

中央区(定数3)

河本 文雄
自民党

てらさき 雄介
立憲民主党・
かながわクラブ

佐々木 正行
公明党

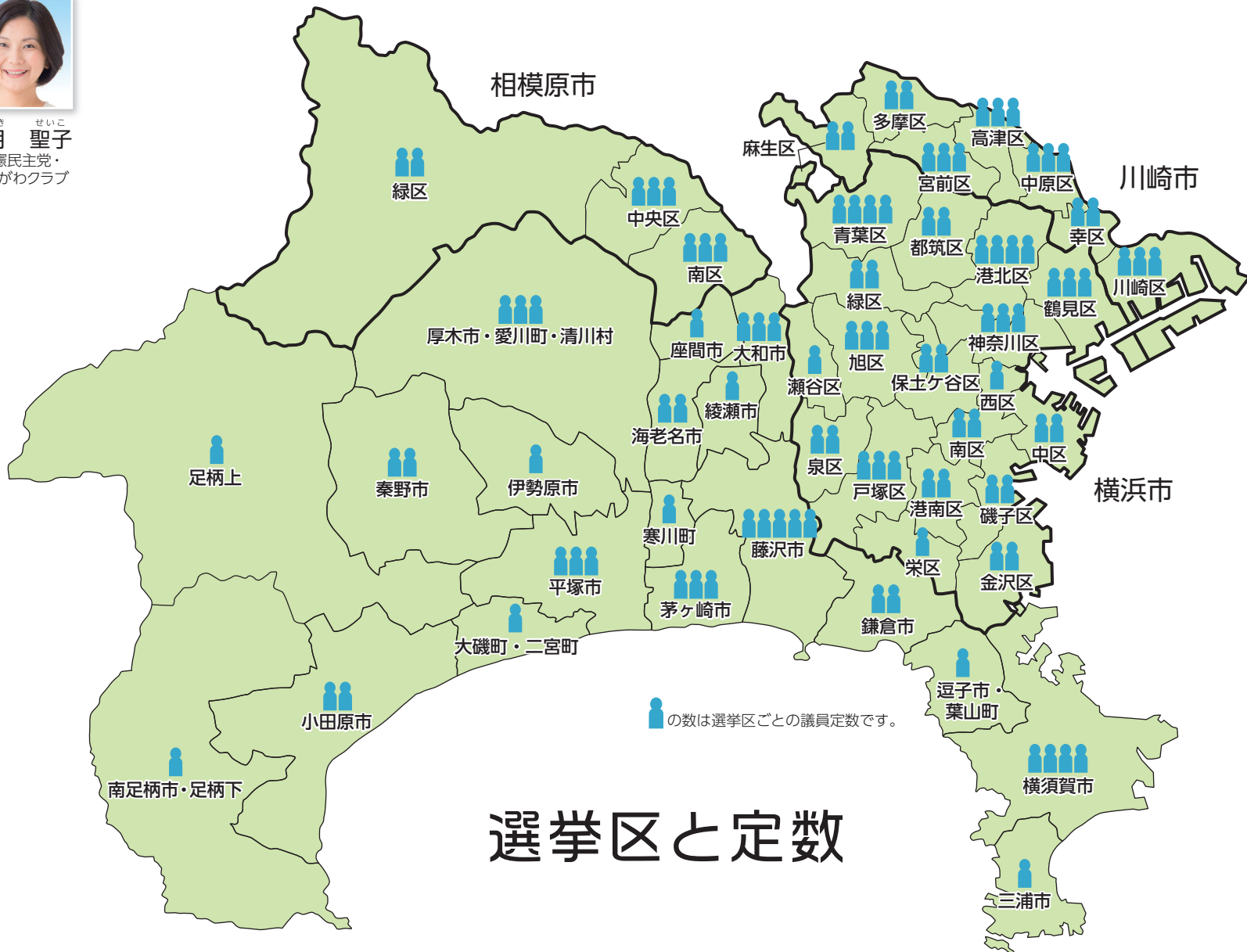
南区(定数3)

細谷 政幸
自民党

京島 けいこ
かながわ未来

阿部 将太郎
日本維新の会

選挙区別議員紹介



選挙区と定数

会派別議員数等 (令和6年5月24日現在)				
会 派 名	呼 称	議員数	団 長	政務調査会会長
自由民主党神奈川県議会議員団	自民党	46人	杉 本 透	原 聡 祐
立憲民主党・かながわクラブ神奈川県議会議員団	立憲民主党・かながわクラブ	21人	齊藤 たかみ	米 村 和 彦
かながわ未来神奈川県議会議員団	かながわ未来	10人	京島 けいこ	石川 裕 憲
公明党神奈川県議会議員団	公明党	8人	谷口かずふみ	佐々木 正行
日本維新の会神奈川県議会議員団	日本維新の会	6人	さとう 知一	片 桐 紀 子
日本共産党神奈川県議会議員団	共産党	3人	大山 奈々子	—
立憲民主・神奈川ネット青葉都筑神奈川県議会議員団	立憲神奈川ネット	2人	すとう 天信	—
わが町	わが町	1人	—	—
神奈川を変える港南の会	港南の会	1人	—	—
県政会	県政会	1人	—	—
創和会	創和会	1人	—	—
高津自由の会	高津自由の会	1人	—	—
清進の会	清進の会	1人	—	—
立憲民主党こゆるぎクラブ	こゆるぎ	1人	—	—
合 計(14会派)	定数105人	103人		

※会派とは…議会内で結成された、同じ考えを持った議員のグループのことを会派といいます。

横須賀市(定数4)

田中 洋次郎
自民党

亀井 たかつぐ
公明党

永井 真人
かながわ未来

井坂 新哉
共産党

平塚市(定数3)

米村 和彦
立憲民主党・
かながわクラブ

森 正明
自民党

藤井 深介
公明党

鎌倉市(定数2)

永田 磨梨奈
自民党

飯野 まさたけ
立憲民主党・
かながわクラブ

藤沢市(定数5)

脇 礼子
かながわ未来

松長 泰幸
県政会

吉田 あつき
自民党

市川 和広
自民党

おだ 幸子
公明党

小田原市(定数2)

おざわ 良央
自民党

佐々木 ナオミ
こゆるぎ

茅ヶ崎市(定数3)

平野 みぎわ
立憲民主党・
かながわクラブ

ます 晴太郎
自民党

逗子市・葉山町(定数1)

近藤 大輔
かながわ未来

三浦市(定数1)

石川 巧
自民党

秦野市(定数2)

神倉 寛明
自民党

谷 和雄
創和会

厚木市・愛川町・清川村(定数3)

難波 達哉
自民党

佐藤 けいすけ
かながわ未来

さとう 知一
日本維新の会

大和市(定数3)

藤代 ゆうや
自民党

野内 みつえ
立憲民主党・
かながわクラブ

谷口 かずふみ
公明党

伊勢原市(定数1)

渡辺 紀之
自民党

海老名市(定数2)

長田 進治
自民党

相原 しほ
立憲民主党・
かながわクラブ

座間市(定数1)

芥川 薫
自民党

南足柄市・足柄下(定数1)

高橋 延幸
自民党

綾瀬市(定数1)

網嶋 洋一
自民党

寒川町(定数1)

山本 哲
自民党

大磯町・二宮町(定数1)

吉川 さとし
かながわ未来

足柄上(定数1)

杉本 透
自民党

議会運営委員会

議会の運営、会議規則や委員会条例に関することなどを協議・審査します。

令和6年5月22日現在

委員長		河本文雄(自民党)						
副委員長		亀井 たかつぐ(公明党)						
委員	自民党	難波達哉	田中 信次	芥川 薫	山本 哲	あらい 絹世	しきだ 博昭	
	立憲民主党・かながわクラブ	菅原 あきひと	栄 居 学	市川 よし子				
	かながわ未来	京 島 けいこ	石川 裕 憲					
	公明党	お だ 幸 子						
	日本維新の会	日 浦 和 明						
現 員		15						
定 数		15						

常任委員会

常任委員会は、常設されている委員会で、本会議から付託された議案、請願の審査を行うほか、部局の所管事項に関する調査も行っています。条例によって8つの常任委員会が設置され、議員はいずれか1つの委員会に所属しています(議長は除きます。)

令和6年5月24日現在

区分		総 務 政 策	防 災 警 察	文化スポーツ観光	環 境 農 政	厚 生	産 業 労 働	建 設・企 業	文 教
委員長		石川 巧 (自民党)	川崎 修平 (自民党)	市川 さとし (立憲民主党・かながわクラブ)	田中 信次 (自民党)	田村 ゆうすけ (自民党)	楠 梨恵子 (自民党)	神 倉 寛 明 (自民党)	望 月 聖 子 (立憲民主党・かながわクラブ)
副委員長		谷口 かずふみ (公明党)	菅原 あきひと (立憲民主党・かながわクラブ)	新 堀 史 明 (自民党)	須田 こうへい (立憲民主党・かながわクラブ)	岸 部 都 (かながわ未来)	市川 和 広 (自民党)	片 桐 紀 子 (日本維新の会)	綱 嶋 洋 一 (自民党)
委員	自 民 党	山口 美津夫 山本 哲 高橋 栄一郎 杉本 透 松田 良 昭	吉田 あつき 武田 翔 加藤 元 弥 梅沢 裕 之 土井りゅうすけ	小林 武 史 藤代 ゆうや 長田 進 治 嶋村 た だ し	永田 磨梨奈 おざわ 良 央 渡辺 紀 之 持田 文 男	大村 悠 芥川 薫 あらい 絹世 しきだ 博昭 小島 健 一	ます 晴太郎 いそもと桂太郎 森 正 明 河本文雄	難波達哉 高橋 延 幸 田中 徳一郎 内田 みほこ 桐生 秀 昭	田中 洋次郎 原 聡 祐 細谷 政 幸 杉山 信 雄
	立憲民主党・かながわクラブ	飯野 まさたけ 古賀 照 基 松崎 淳	米村 和 彦 たきた 孝 徳	野内 みつえ	森田 学 学 栄 居	中村 武 人 斉藤 たかみ てらさき 雄介	平野 みぎわ 市川 よし子	赤野 たかし 松本 清	相原 し ほ 青山 圭 一
	かながわ未来	吉川 さとし 京島 けいこ	近藤 大 輔	石川 裕 憲	永井 真 人		作山 ゆうすけ	佐藤 けいすけ	小田 貴 久 脇 礼 子
	公 明 党		西村 くにこ	亀井 たかつぐ	藤井 深 介	鈴木 ひでし	お だ 幸 子	佐々木 正 行	小野寺 慎一郎
	日本維新の会	松川 正二郎	さとう 知 一		日浦 和 明	阿部 将太郎			添田 勝
	共 産 党			大山 奈々子		井坂 新 哉	木佐木 忠 晶		
	立憲神奈川ネット			すとう 天 信			青木 マ キ		
	わ が 町						北井 宏 昭		
	港南の会				浦道 健 一				
	県政会							松長 泰 幸	
	創和会				谷 和 雄				
	高津自由の会								小川 久仁子
	清進の会			柳瀬 吉 助					
	こゆるぎ							佐々木 ナオミ	
現 員		13	12	12	13	13	13	13	13
定 数		13	13	13	13	13	13	13	13

常任委員会で質疑された主な項目

総 務 政 策
常任委員会

収入証紙制度の廃止、県水道広域化推進プランの取組、県・米陸海軍意見交換会の開催、未病(ME-BYO)の改善などについて質疑を行いました。

防 災 警 察
常任委員会

災害救助訓練場「かながわ版ディザスターシティ」の充実、LPガス物価高騰対応支援金事業の実施状況、自転車の交通安全対策、要配慮者の避難支援対策の充実などについて質疑を行いました。

文化スポーツ観光
常任委員会

県民ホールのあり方、eスポーツ※14の活用、スポーツツーリズム※15、かながわ認定観光案内人※16などについて質疑を行いました。

環 境 農 政
常任委員会

水源環境保全・再生施策、かながわプラごみゼロ宣言、農福(農業福祉)連携、PFOS(ピーフォス)等※17による影響などについて質疑を行いました。

厚 生
常任委員会

県立病院機構の中期目標の策定、動物愛護の取組、県立障害者支援施設等における虐待事案への対応状況、県立保健福祉大学の徴収する料金の上限の変更などについて質疑を行いました。

産 業 労 働
常任委員会

労働相談の取組、中小企業支援、さがみロボット産業特区※12の取組、ベンチャー支援の取組などについて質疑を行いました。

建 設・企 業
常任委員会

神奈川版ライドシェアの実施状況、相模ダムリニューアル事業、空き家対策、県内水道5事業者が目指す水道システム再構築などについて質疑を行いました。

文 教
常任委員会

セクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果、県立高校等の設置に関する条例の一部改正、小中学生のいじめ対策、学校現場でのカスタマーハラスメント※1などについて質疑を行いました。

特別委員会

特定の事件について審査・調査するために、必要があるときに設けられます。

令和6年5月24日現在

委員会 区分		共 生 社 会	安 全 安 心	産 業 振 興	社会・健康対策
委 員 長		山 口 美津夫 (自民党)	武 田 翔 (自民党)	おざわ 良 央 (自民党)	山 本 哲 (自民党)
副 委 員 長		市 川 さとし (立憲民主党・かながわクラブ)	森 田 学 (立憲民主党・かながわクラブ)	石 川 裕 憲 (かながわ未来)	永 田 磨梨奈 (自民党)
委 員	自 民 党	難 波 達 哉 市 川 和 広 高 橋 延 幸 渡 辺 紀 之 河 本 文 雄 松 田 良 昭	田 中 洋次郎 ま す 晴太郎 新 堀 史 明 高 橋 栄一郎 内 田 みほこ しきだ 博 昭	小 林 武 史 大 村 悠 川 崎 修 平 細 谷 政 幸 桐 生 秀 昭	吉 田 あつき 田 中 信 次 田 中 徳一郎 杉 山 信 雄
	立憲民主党・ かながわクラブ	野 内 みつえ 飯野 まさたけ	古 賀 照 基 市 川 よし子	平 野 みぎわ 菅原 あきひと 赤 野 たかし	相 原 し ほ 須田 こうへい 望 月 聖 子
	かながわ未来	小 田 貴 久	永 井 真 人	脇 礼 子	京 島 けいこ
	公 明 党	お だ 幸 子	亀井 たかつぐ	谷口 かずふみ	鈴 木 ひでし
	日本維新の会		阿 部 将太郎	日 浦 和 明	さとう 知 一
	共 産 党				大 山 奈々子
	立憲神奈川ネット	すとう 天 信			
	現 員		13	13	13
定 数		13	13	13	13

予算委員会

予算及び予算関係議案の審査を横断的かつ多角的に行うために設置されます。
本県議会では、原則として第1回定例会中に開催されます。
ただし、補正予算を審議する必要がある場合、他の定例会においても開催されることがあります。

令和6年5月24日現在

委 員 長		綱 嶋 洋 一(自民党)			
副 委 員 長		作山 ゆうすけ(かながわ未来) 芥 川 薫(自民党)			
理 事		市 川 和 広(自民党) 米 村 和 彦(立憲民主党・かながわクラブ) 石 川 裕 憲(かながわ未来) 谷口 かずふみ(公明党) 日 浦 和 明(日本維新の会)			
委 員	自 民 党	田 中 洋次郎	難 波 達 哉	ま す 晴太郎	山 口 美津夫
		田村 ゆうすけ	川 崎 修 平	おざわ 良 央	田 中 徳一郎
		藤 代 ゆうや	高 橋 栄一郎	あらい 絹 世	杉 本 透
		嶋 村 ただし	土井りゅうすけ	河 本 文 雄	持 田 文 男
	立憲民主党・かながわクラブ	平 野 みぎわ	野 内 みつえ	飯野 まさたけ	市 川 さとし
		古 賀 照 基	赤 野 たかし	たきた 孝 徳	
	かながわ未来	吉 川 さとし	永 井 真 人		
	公 明 党	お だ 幸 子	西 村 く に こ		
日本維新の会	阿 部 将太郎	片 桐 紀 子			
共 産 党	井 坂 新 哉				
わ が 町	北 井 宏 昭				
創 和 会	谷 和 雄				
現 員		40			
定 数		40			

各特別委員会の所管事項

共生社会 特別委員会

当事者目線の障がい福祉、高齢者支援・認知症対策・ケアラーへの支援の推進、高齢者・障害者等介護の支援、特別支援教育、インクルーシブ教育・人権教育、デフリンピック・パラスポーツの推進、部活動の地域移行、多文化共生に向けた取組、人権男女共同参画社会の推進について調査します。

安全安心 特別委員会

自然災害対策の推進、犯罪の起きにくい地域社会づくり、交通安全対策、都市基盤整備、交通基盤・新たな交通サービスの充実、安全・安心な住まいづくり、水道の広域連携、米軍基地対策について調査します。

産業振興 特別委員会

中小企業・小規模企業の活性化、雇用環境の改善、成長産業の創出・育成、国際園芸博覧会、農林畜水産業の活性化、脱炭素社会の実現に向けた取組、観光振興・文化芸術振興、地方創生の推進、eスポーツに係る取組について調査します。

社会・健康対策 特別委員会

ヘルスケア・ニューフロンティアの推進、未病改善の取組、医療施策の推進、子ども・子育てへの支援・少子化対策、児童虐待・いじめ・不登校対策、デジタル戦略推進、資源循環の推進、食品ロス問題、生活環境の保全について調査します。

決算 特別委員会

一般会計、特別会計、公営企業会計の決算を審査します。
※決算認定議案が提出された場合に、設置されます。

議会選出委員等

令和6年
5月24日現在

監査委員

加藤 元弥(自民党) 青山 圭一(立憲民主党・かながわクラブ)

神奈川県内広域水道企業団議会議員

しきだ 博昭(自民党) 森 正明(自民党)

斉藤 たかみ
(立憲民主党・かながわクラブ)

神奈川県川崎競馬組合議会議員

梅沢 裕之(自民党) 桐生 秀昭(自民党)

土井りゅうすけ(自民党) 市川 よし子(立憲民主党・かながわクラブ)

請願・陳情のご案内

県政について、要望や意見等があるときは、どなたでも請願書や陳情書を県議会に提出できます。

県議会議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情といい、提出された請願・陳情は次の流れで取り扱われます。

なお、点字による請願・陳情も受け付けています。

お問合せ

議事課委員会グループ
☎(045) 210-7546

● 請願の順序

請願書の提出※1

本会議に提案されます

常任委員会で審査します

審査結果を本会議に報告します

本会議で採決します

請願書提出者に審議結果を通知します

採択された請願は執行機関に送付します

● 陳情の順序

陳情書の提出※1

議長が受理します

常任委員会で審査します

審査結果を議長に報告します

陳情書提出者に審査結果を通知します

※2 委員会で審査されない陳情

※3 県外住所からの陳情

陳情書の写しを本会議に配付します

※1 請願・陳情の提出期日は原則、付託日(常任委員会へ審査を委託する日)の休日を除く2日前となります。

点字による請願・陳情の提出期日は原則、付託日の休日を除く7日前となります。

※2 公序良俗に反するもの、個人の私生活の秘密を暴露するもの、個人又は団体の名誉毀損となるものなど、委員会で審査されない場合があります。その場合は、本会議に陳情書の写しが配付されます。

詳細については、県議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

※3 県内に住所を有しない方から提出された陳情については、委員会で審査されず、本会議に陳情書の写しが配付されます。

採択された請願及び了承された陳情については
県議会ホームページに掲載しています。



◀ 採択された請願
<https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/p80143.html>



◀ 了承された陳情
<https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/p80146.html>

議案と各会派の賛否

(会派名: 左から 自民党、立憲民主党・かながわクラブ、かながわ未来、公明党、日本維新の会、共産党、立憲神奈川ネット、わが町、港南の会、県政会、創和会、高津自由の会、清進の会、こゆるぎ) ○は賛成×は反対

議案の分類	議案名	審議結果	自民	立憲	未来	公明	維新	共産	立憲	わが	港南	県政	創和	高津	清進	立憲	備考
令和6年度補正予算(1件)	一般会計補正予算(第1号)※	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例の廃止(1件)	かながわ新型コロナウイルス感染症医療・福祉応援基金条例を廃止する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例の一部改正(11件)	地方税法第37条の2第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事務処理の特例に関する条例																
	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用範囲及び特定個人情報の提供に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
	収入証紙に関する条例	原案可決															
	神奈川県県税条例																
	過疎地域における県税の課税の特例に関する条例																
	大気汚染防止法第4条第1項の規定による排出基準及び水質汚濁防止法第3条第3項の規定による排水基準を定める条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定こども園の要件を定める条例																
	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例																
	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例																
	神奈川県立の高等学校等の設置に関する条例																
契約(1件)	工事請負契約の変更(一級河川矢上川地下調節池トンネル本体Ⅰ期工事請負契約)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他(13件)	専決処分(神奈川県県税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決処分(損害賠償請求訴訟の判決に対する控訴について)	承認	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
	動産の取得(リレンザ備蓄用)	原案可決															
	動産の取得(大型電子黒板(高校))																
	動産の取得(大型電子黒板(特別支援学校))																
	動産の取得(書架)																
	指定管理者の指定(かながわアートホール)																
	指定管理者の指定(西湘スポーツセンター)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定(スポーツ会館)																
	指定管理者の指定(秦野ビジターセンター及び西丹沢ビジターセンター)																
	和解																
	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学定款の変更																
	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学の徴収する料金の上限の変更の認可																
人事(3件)	監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	公安委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	収用委員会予備委員の任命																
議員派遣(1件)	令和6年度神奈川県議会友好代表団(オーストラリア連邦クイーンズランド州ゴールドコースト市、8人)	原案可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※防災警察常任委員会の審査において次の意見が付されて可決された。
【意見】警察署等での窓口キャッシュレス決済を導入することや、運転免許証とマイナンバーカードの一体化については、県民の利便性を向上させるものとなるが、大きな制度の変更であるため、混乱を招かないよう、継続的に丁寧な説明と周知を行うこと。

令和6年第3回定例会・会議等の予定

会期：9月9日から12月19日まで(102日間)

9月9日(月)	議会運営委員会・本会議(知事提案説明)・議案説明会
12日(木)	本会議(代表質問)
13日(金)	本会議(代表質問)
17日(火)	本会議(代表質問)
19日(木)	本会議(一般質問)
20日(金)	本会議(一般質問)
25日(水)	本会議(一般質問)
26日(木)	議会運営委員会・本会議(一般質問、付託)
30日(月)	常任委員会(総務政策、防災警察、文化スポーツ観光、環境農政)
10月1日(火)	常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教)
2日(水)	常任委員会(総務政策、防災警察、文化スポーツ観光、環境農政)
3日(木)	常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教)
4日(金)	特別委員会
7日(月)	(予算委員会)
8日(火)	常任委員会(全委員会)
10日(木)	決算特別委員会
11日(金)	議会運営委員会
15日(火)	議会運営委員会・本会議(採決)
16日(水)	決算特別委員会
17日(木)	決算特別委員会
21日(月)	決算特別委員会
23日(水)	決算特別委員会
25日(金)	決算特別委員会
29日(火)	決算特別委員会
31日(木)	決算特別委員会
11月5日(火)	決算特別委員会
18日(月)	議会運営委員会
20日(水)	議会報告会(安全安心特別委員会)
25日(月)	議会運営委員会・本会議(知事提案説明)・議案説明会
28日(木)	本会議(代表質問)
29日(金)	本会議(代表質問)
12月2日(月)	本会議(代表質問)
4日(水)	本会議(一般質問)
5日(木)	議会運営委員会・本会議(一般質問、付託)
9日(月)	常任委員会(総務政策、防災警察、文化スポーツ観光、環境農政)
10日(火)	常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教)
12日(木)	特別委員会
16日(月)	常任委員会(全委員会)
18日(水)	議会運営委員会
19日(木)	議会運営委員会・本会議(採決)

※議会の日程は、変更される場合があります。
※最新の日程と開会時刻は、県議会ホームページでご覧いただくか、議会局までお問い合わせください。

可決された意見書等

可決された意見書【4件】

- 裁判所機能の充実を求める意見書
- 加齢による難聴の早期発見と聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書
- 地方税財政制度の充実・強化を求める意見書
- 水道システム再構築に資する財政支援制度の創設を求める意見書

▶ 提案された意見書等

本会議に提案された意見書等の全文は県議会ホームページに掲載しております。



神奈川県議会 本会議 記録等



https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/proceedings/30202405.html



意見書案提出書
(令和6年7月8日)



請願文書表
(令和6年6月25日)



ともに生きる社会
かながわ憲章
この悲しみを力に、ともに生きる社会を実現します！
県立津久井やまゆり園での大変痛ましい事件を決して忘れず、真の共生社会の実現に向け、継続して取り組んでまいります。

